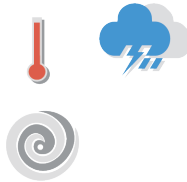


卸売業・小売業

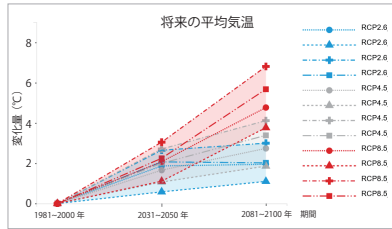
主な影響の要因

気温の上昇、大雨や大型台風の増加

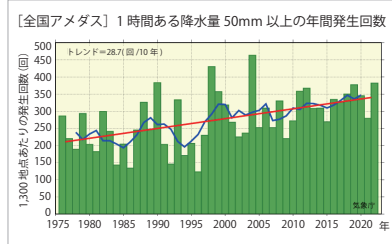


現在の状況と将来予測

日本の平均気温は100年あたり1.26℃の割合で上昇しており、また1時間降水量50mm以上の雨のような雨の年間発生回数も増加傾向にある。



将来の平均気温（排出シナリオと気候モデルに対する年平均気温の将予測（基準期間との差）
出典：A-PLAT



全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年変化
出典：気象庁ホームページ

将来は、さらなる気温の上昇と大雨の増加が予測されている。

そのため、以下のようなリスクが予測される。

- ・季節性商品の売上減少による業績悪化、異常気象による調達リスク
- ・事業活動の基盤であるインフラ・ライフラインの被害がもたらす影響は極めて甚大で深刻な打撃となるリスク
- ・中小企業ではこれらの影響・リスクの程度が大きくなる可能性

適応策

自社の事業活動やサプライチェーン全体への影響やその対応についての理解を深め、事業活動の内容に即した網羅的な適応策の検討が必要となる。

要因

気温の上昇、大雨や大型台風の増加

経営資源

主要事業

適応ビジネス

建物・設備

- ・水災害による店舗、工場、倉庫等施設への浸水
- ・空調機器の消費電力増加に伴う運用コストの増加

商品調達・事業活動

- ・不作や不漁による調達リスクの増加と調達価格の高騰
- ・サプライチェーン断絶
- ・気候変動や環境に配慮した商品等への消費者ニーズの高まりによる原材料調達価格の高騰

商品売上

- ・季節商品の需要予測への支障
- ・実店舗の臨時休業や休止
- ・消費者行動の変化
- ・感染症発生頻度、時期、地域の変化による製品需要の変化

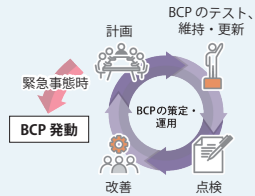
商品の販売促進・強化

- ・気温変化に対応した商品の需要増加
- ・気象災害に関連する商品の需要増加

影響

適応策

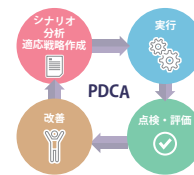
BCPの策定・運用



建築物・インフラのレジリエンス強化



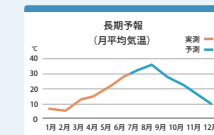
シナリオ分析による適応戦略の策定・実施



サプライチェーンの見直し・改善



気象データの活用



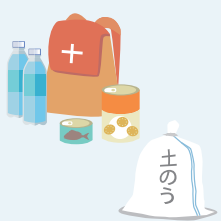
実店舗以外の販売ルート確立



昇温時における商品の販売促進・強化



防災・減災商品の販売促進・強化





卸売業・小売業

卸売業・小売業は、有体的商品を購入して販売する事業をいう。

卸売業は主として、小売業者又は他の卸売業者に商品を販売する、産業用使用者（建築業、製造業、運輸業、飲食店、宿泊業、学校、官公庁等）に商品を大量または多額に販売する事業をいう。小売業は、主として個人用又は家庭用消費のために商品を販売する事業をいう。

要因	急激な気温変化、大雨の増加			
経営資源	主要事業			適応ビジネス
影響	建物・設備	商品調達・事業活動	商品売上	商品の販売促進・強化
	<ul style="list-style-type: none"> 水害による店舗、工場、倉庫等施設への浸水 施設、設備等の修繕コストの増加 停電による事業活動の中断 空調機器の消費電力増加に伴う運用コストの増加 カビの発生増加、それによる健康被害リスクの増加 	<ul style="list-style-type: none"> 国内または世界各地のサプライチェーンにおける異常気象による農作物等の不作による調達リスクの増加と調達価格の高騰 暑熱による畜産物の生産量減少やへい死等による調達リスクの増加 海水温上昇による海産物の不漁や調達価格の高騰 国内または世界各地のサプライヤーの被災等、サプライチェーン断絶による事業活動の中断 物流断絶（陸路・空路・海路の断絶）による事業活動の中断 	<ul style="list-style-type: none"> 急激な気温変化や大雨の増加等による季節商品の需要予測への支障 気象災害による実店舗の臨時休業や休止 急激な気温変化や大雨の増加等による消費者の外出機会の減少 感染症発生頻度、時期、地域の変化による製品需要の変化 	<p>昇温時における商品の販売促進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷たい飲料商品や冷果商品 家電製品（クーラー、除湿器、扇風機等） 接触冷感素材を使用した熱中症予防商品 虫よけ等の感染症対策商品 <p>気候変化に伴うビジネス機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴルフ、キャンプ、バドミントン、スケートボード等、屋外娯楽で使用する商品 スポーツアパレル商品 <p>暖冬による花粉飛散時期の長期化への花粉症予防対策商品の販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> マスクやゴーグル、アレルギー性鼻炎薬等、花粉症予防 / 対策商品 <p>防災・減災商品の販売促進・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 土嚢や止水板等、施設の防災、減災商品 高機能な傘、レインコート等、豪雨時の外出に備えた商品 ストック食材、飲料水等、被災時への備蓄品
適応策	<ol style="list-style-type: none"> BCPの策定・運用 建築物・インフラのレジリエンス強化 高上げや止水板の設置等による防災機能の向上 自社の拠点ごとに事業運営に必要な電力量及び停電の影響を把握し、必要に応じた非常用発電機の準備 施設の屋上緑化や屋根の散水設備等による遮熱対策 コーティング等によるカビ対策 損害保険の加入 	<ol style="list-style-type: none"> シナリオ分析による適応戦略の策定・実施 サプライチェーンの見直し・改善 <ul style="list-style-type: none"> 輸送不要な調達施設の整備 輸入による仕入れ数量の確保 天候不順等に対応するための商品産地の多角化 プライベートブランドの開発 生産地への設備投資、栽培方法の見直しによる生産性の改善 	<ol style="list-style-type: none"> 気象データの活用（消費者行動変化の把握） 天候予測を用いた年間の販売促進計画の策定 実店舗以外の販売ルート確立（移動型店舗の出店、通信販売、配送サービスの拡充） シナリオ分析も含めた事業継続を担保した対策 通信販売、配送サービスの拡充 	
効果	1), 4) 低 2), 7) 中～高 3), 5) ～6) 中	1) 高 2) 中～高	3) 中 1) 2) 4) 5) 高	—
コスト	1), 7) 低 2) 中～高 3) 中 4) ～6) 高	1) 低 2) 中～高	4) 低 1) 2) 中 3) 高	—
所要時間	1), 7) 短期 2) 短期～長期 3) ～4) 短期 5) ～6) 中期～長期	1) 短期 2) 中期～長期	1) 2) 5) 短期 3) 4) 中期～長期	—

適応策の進め方

【現時点の考え方】既に行っている防災への取組やサプライチェーンマネジメント等は適応策の一環である。

【気候変動を考慮した考え方】災害対策や風水害の影響を受けた施設等の確認等、過去に経験した気候変動影響に関する情報を収集・整理をした上で、将来予測情報を活用した対策を講じる。取り扱う商品の原料への影響が自社の事業活動へ与えるインパクトも検討する必要がある。サプライチェーンにおいては、現在、既にある影響の拡大の他、新たな影響の発生も考慮した上で持続可能性を高める必要がある。気象予測を利用した販売計画を行い、市場ニーズを反映した商品販売を行う等、適応をビジネスチャンスとして捉え展開していく必要がある。

【参考文献】環境省(2020)「気候変動影響評価報告書-詳細-」<https://www.env.go.jp/press/files/jp/115262.pdf>、環境省(2021)「気候変動適応計画」<http://www.env.go.jp/earth/tekiou/1tekioukaiakuR3.pdf>、気象庁ウェブサイト「全国(アメダス)の1時間降水量50mm以上の年間発生回数」https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html、環境省(2022)「民間企業の気候変動適応ガイド-気候リスクに備え、勝ち残るために-参考資料編」<https://www.env.go.jp/press/files/jp/111142.pdf>、環境省(2021)「令和3年版環境白書」<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r03/pdf/full.pdf>、環境省(2021)「TCFDを活用した経営戦略立案のススメ」https://www.env.go.jp/policy/policy/tcfd/TCFDguide_ver3_0_2.pdf、気象庁交通政策審議会気象分科会(2012)「気候変動や異常気象に対応するための気候情報とその利活用のあるり方について」<https://www.mlit.go.jp/common/000192957.pdf>、経済産業省(2016)「中小企業のリスクマネジメントと信用力向上に関する調査」https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11279352_po_000521.pdf?contentNo=1&alternativeNo=、中小企業庁ウェブサイト「中小企業BCP策定運用指針～緊急事態を生き抜くために～」<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>、気象庁ウェブサイト「気象情報を利用して気候の影響を軽減してみませんか？」https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/hyoka_jituei.html、環境省「地球温暖化と感染症」https://www.env.go.jp/earth/ondanka/pamph_infection/full.pdf